

平成29年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	下水道部
部(局)長名	竹嶋 秀人

【基本姿勢】

下水道は生活環境の改善、浸水の防除、公共用水域の水質保全など、市民の快適な生活を支え、利便性やまちの魅力を高めるための必要な都市基盤の施設で、「まちの固定費」として維持管理等の費用を確保し、日常的な維持管理や老朽化した施設の更新等の地味で「見えにくい仕事」を適切に行っていくとともに、市民に対して「下水道」を積極的にPRしていきます。

これまで整備を進めてきた下水道施設は老朽化対策が必要となっており、長寿命化、耐震化も含めた改築更新を効率的に進め、適切な維持管理とあわせた計画的なストックマネジメントを導入していきます。

また、昨今のゲリラ豪雨に対応するため、雨水レベルアップ整備事業をはじめとする浸水対策を進めていくとともに、防災意識の向上にも取り組みます。

企業会計（一部適用）の採用により一層の透明化を図るとともに、投資計画と財源計画を基礎とする経営戦略の策定に向けた準備を行います。

市民の安心・安全と生活環境を守り、安定的で持続可能な下水道の経営を目指すため、重点課題に積極的に取り組みます。

【達成度について】

A：達成（設定した目標を達成することができた。）

B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）

C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

【重点課題】

	重点課題	平成29年度 達成状況
1	下水道施設等の適切な維持管理	A
2	下水道施設等の老朽化対策	A
3	下水道管渠等の整備	A
4	効率的・効果的な下水道事業の推進	A
5	防災意識の向上	A

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 1	下水道施設等の適切な維持管理
--------	----------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民の命を守り、まちの品格を保つための「まちの固定費」を確保し、予防保全型の計画的な維持管理を行います。
---------------------	--

活動目標
下水道管渠等の巡視・点検・調査を行い、状況に応じて清掃・修繕・改築などの対応を行います。
下水処理場施設の巡視・点検に基づき、予防保全型の計画的な維持管理を行います。

具体的な取組実績
下水道管渠等について、職員による路面巡視を週一回のペースで行うとともに、管口からの調査により、管内状況を把握し、計画的に清掃を行いました。また、老朽化した管渠の点検や緊急交通路下の管渠の詳細調査を計画的に行い、必要に応じ修繕などを行いました。
維持管理業務により巡視点検時に発見された保全上必要箇所について、計画的な維持管理を行いました。

達成目標
下水道管渠等について、適切な管理に努め、安心・安全な市民生活を守ります。
下水処理場施設等の巡視・点検情報を整理し、予防保全型の維持管理を行い、適切な運転管理に努めます。

達成状況	達成度
安心・安全な市民生活の維持を目的に、下水道管渠等について巡視・点検・調査を行い、路面陥没や管閉塞を未然に防止することで、当初の目的は概ね達成できました。	A 達成
巡視・点検時の保全上必要箇所について書類で報告を受け、維持管理を計画的に実施することにより突発的な故障を未然に防ぐことができました。	A 達成

総合評価・総括
<p>事故を未然に防止する予防保全型の維持管理について、おおむね実践することができました。また、突発的な路面陥没や管閉塞についても迅速に対応し、市民生活への影響を最小限に抑え、安心・安全な市民生活の維持に寄与しました。</p> <p>下水処理場につきましては、施設等の巡視・点検情報に基づく施設および設備の計画的な維持管理によって適切な運転管理ができました。引き続き事故なく安全な維持・運転管理に努めます。</p>

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 2	下水道施設等の老朽化対策
--------	--------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	市民が安心して暮らせ、まちの品格も保てるよう、下水道施設等の計画的な改築更新を引き続き進めます。
---------------------	--

活動目標
今後の効率的な改築計画の策定に向けて、各施設の統合も含め、あり方を検討します。
長寿命化計画に基づいた下水道施設等の改築更新を実施します。

具体的な取組実績
川面処理場の統合について検討しました。
下水道施設等の改築更新工事を実施しました。

達成目標
「川面処理区編入基本計画」を策定します。
下水道施設等の予防保全や改築更新を行うことにより、下水道施設等の機能を維持します。施設基本情報を基に、長期的な改築更新計画を進めていきます。

達成状況	達成度
川面処理場を統合において、最も有利である南吹田処理場へ段階的編入計画を立案しました。	A 達成
老朽化した下水道施設等を改築更新した結果、機能維持が図れました。吹田市下水道ストックマネジメント計画を策定しました。	A 達成

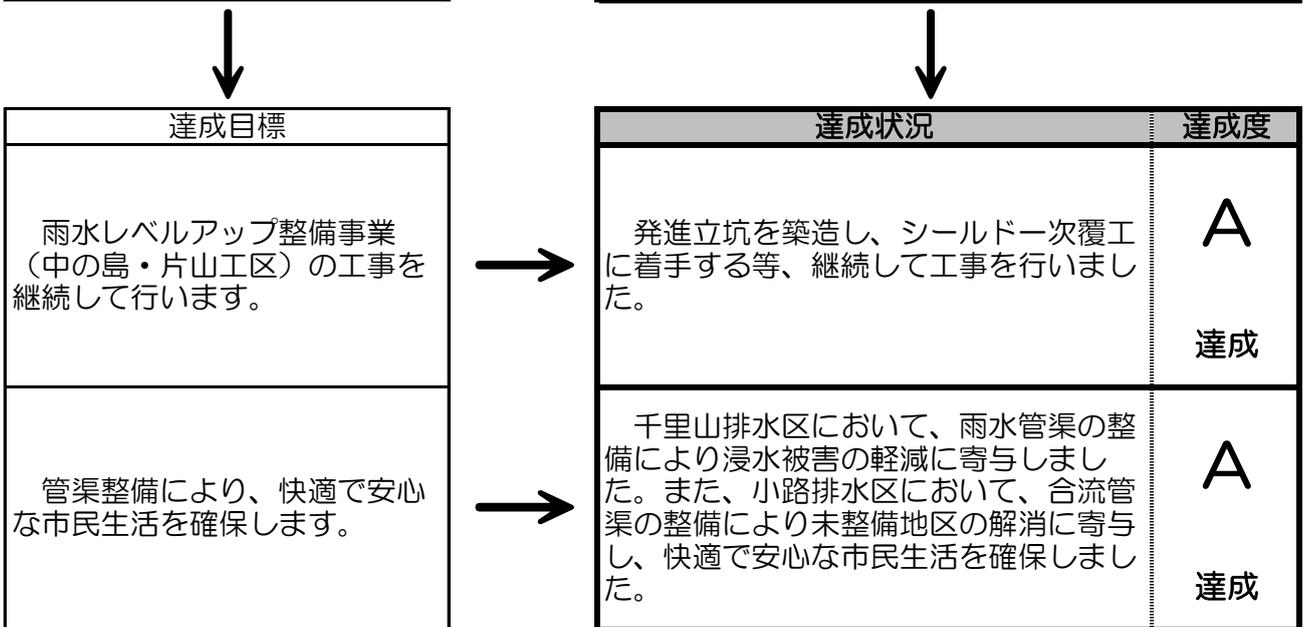
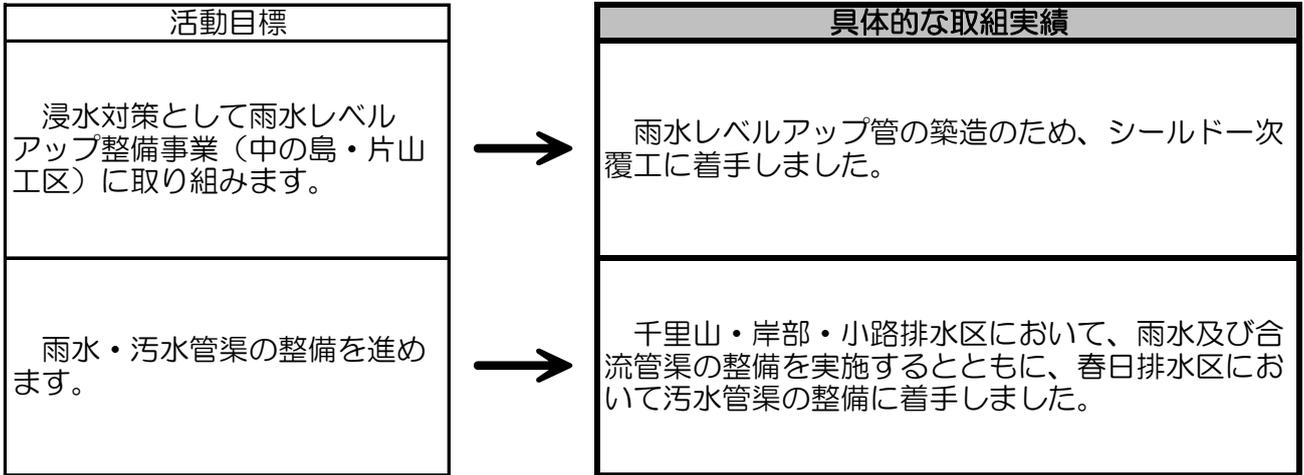
総合評価・総括
<p>予定していた長寿命化計画による改築更新を実施でき、目標は達成できました。また、下水道施設の統合化を検討したことにより、長期的な事業の継続性を見込むことができました。</p> <p>今後は、長寿命化計画からストックマネジメント計画に移行するため、リスクマネジメントを実行し優先順位をつけ計画的な老朽化対策に取り組みます。</p>

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 3	下水道管渠等の整備
--------	-----------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	下水道管渠等の整備を進め、未整備地域の解消に取り組みます。またゲリラ豪雨に対応する浸水対策を積極的に行い、災害に強く安心して安全なまちづくりを目指します。
---------------------	---



総合評価・総括

ゲリラ豪雨に対応する浸水対策として「雨水レベルアップ整備工事 中の島・片山第1工区」を継続して行い「シールド一次覆工」に着手しました。また、その他の管渠についても着手又は整備を完了しており、今年度の目標はおおむね達成しました。今後も未整備地域の解消や浸水被害の軽減に向け、継続的に取り組みます。

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 4	効率的・効果的な下水道事業の推進
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	下水道経営の透明化を図り、効率的な経営を目指します。
---------------------	----------------------------

活動目標
地方公営企業法の一部（財務規定等）適用し、企業会計化したことにより、経営の更なる効率化、透明化を図ります。

具体的な取組実績
企業会計に合わせてカスタマイズした財務会計システム（予算、契約、執行）については、不具合なく順調に稼働しました。また、金融機関と公金の出納、収納の契約を行いました。 円滑な経営に資するため、企業会計について職員研修を4回実施しました。

達成目標
企業会計方式による日常経理や例月監査等を滞りなく執行します。
平成30年度（2018年度）の経営戦略の策定に向けて、準備を進めます。

達成状況	達成度
地方公営企業法を一部適用するために変更した財務会計システムを使用し、問題なく日常経理を執行しました。 4月分から例月監査を滞りなく実施しました。	A 達成
経営戦略の策定に向けて、複数のコンサルと協議を行うとともに、策定に向けた職員研修を行い理解を深めました。	A 達成

総合評価・総括
<p>企業会計へ切り替えた初年度の予算執行については、財務会計システムも不具合なく順調に稼働し適正な執行を行うことができました。また、法適用後の企業会計の事務処理は、予算査定や予算書の策定など新たな事務が加わりましたが、企業会計研修や経営戦略研修等を開催することで、職員全体の企業会計への理解が一層深まり確実な事務の執行ができています。</p> <p>毎月行われている月例監査での質問や資料作成についても、問題なく対応ができており、目標は達成できたものと考えます。</p> <p>今後は、経営戦略を策定する過程で、経営基盤の計画的な強化と安定化を検討することで、一層の経営の安定化を目指します。</p>

部(局)名	下水道部
-------	------

重点課題 5 防災意識の向上

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標) ゲリラ豪雨による浸水被害に対して緊急かつ効率的に被害の軽減を図るために、これまでのハード整備に加えソフト対策を進め被害の最小化を目指します。

活動目標	具体的な取組実績
内水浸水想定区域図を市のホームページへの公表やPRに向けた整理を行います。	内水浸水想定区域図を内水浸水シュミレーションマップと呼称し、内容について市民にわかりやすく整理しました。
止水板設置助成金のPRに向け、対象地域の整理を行います。	市報や市ホームページに掲載するとともに、市内のイオン(株)店舗にPRパンフレットを配架し、助成金のPRに取り組みました。また、地域の防災訓練に参加し、止水製品のPRを行いました。

達成目標	達成状況	達成度
内水浸水想定区域図の公表や積極的なPRを行います。	市ホームページ等への公表や防災講座に参加して、丁寧に説明を行いました。	A 達成
積極的なPRを行い、止水板の設置を推進します。	積極的にPRを行いましたが、止水板の設置件数は1件に留まりました。	A 達成

総合評価・総括

内水浸水シュミレーションマップを公表する事で、多くの問い合わせがあり、雨水に対する市民の防災意識が高まりました。止水板設置助成金については、積極的なPRに取り組んでいますが、近年、大雨による浸水被害が少ないこともあり、助成件数が伸びないのが現状です。今後も粘り強くPRを継続するとともに、制度内容についても検討します。